

旧スプリアス規格に基づいて製造された ETC 車載器に関するお知らせ

平成30年9月3日

2005年12月1日に電波法関連法令である無線設備規則の改正により、弊社より販売致しました下記の ETC 車載器に関しては、2022年12月1日以降ご使用できなくなります。

詳細は「総務省電波利用ホームページ」(※)をご参照下さい。

(※) <http://www.tele.soumu.go.jp/>

1. ご使用できなくなる ETC 車載器

- ・平成19年以前の技術基準適合証明・工事設計認証(旧スプリアス認証)を受け、製造された ETC 車載器
- ・弊社から純正部品として販売した該当 ETC 車載器については、下記の通りです。

該当 ETC 車載器の判別方法に関しましては、次項をご参照下さい。

製造メーカー : 株式会社 デンソー
商品名 : ETC 車載器 24V アンテナ分離型
型式 : DIU-3102 (登録番号 0209)
製造期間 : 2001年4月から2004年4月まで
ICL 販売総数量 : 89台
ICL 品番 : 1-8841-1022-0 又は 1-8841-1022-1
(ICL 品番に関しては、機器への打刻・表示がございませんので参考まで)

上記以外の弊社から純正用品として販売した ETC 車載器に関しましては、対象外となります。

株式会社 デンソーのホームページをご参照下さい。

[https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/etc/security/spurious.ht](https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/etc/security/spurious.html)

[ml](https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/etc/security/spurious.html)

2. よくあるご質問

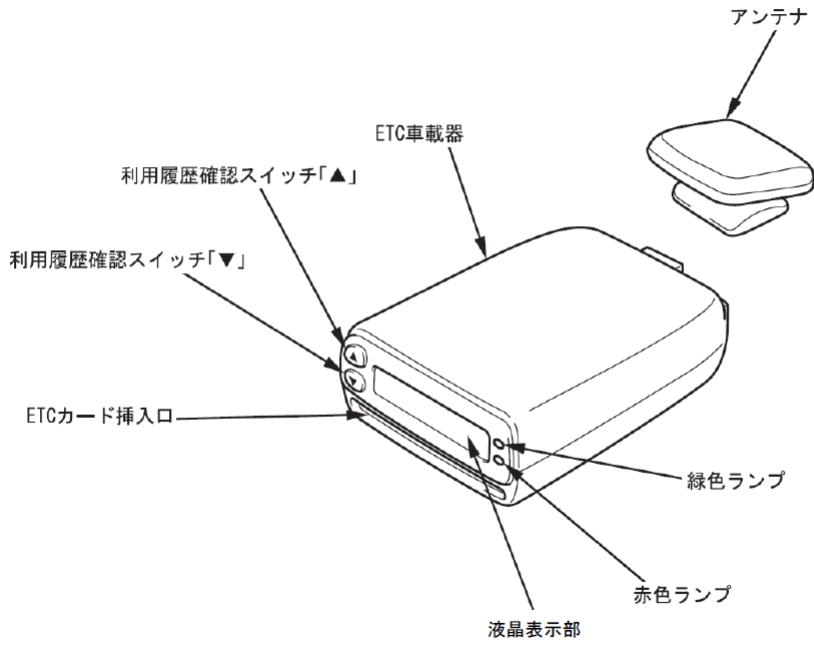
- ・総務省電波利用ホームページ内 Q&A (※)、及び別紙1「よくあるご質問」をご参照下さい。

(※) <http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/spurious/>

3. お問い合わせ先

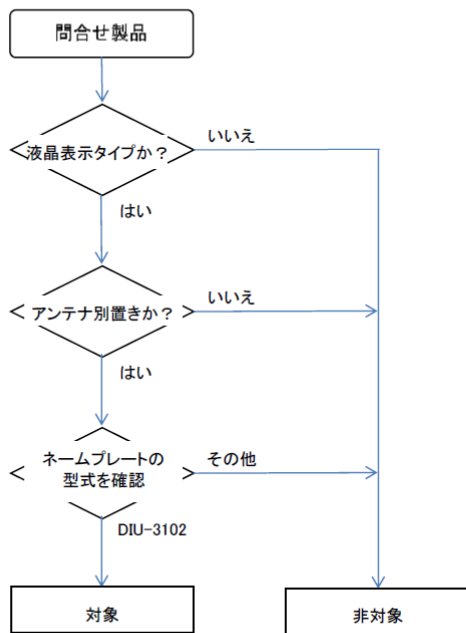
- ・電波法令に関する内容 最寄の総合通信局は別紙2をご参照下さい。
 - ・ETCシステムに関する内容は別紙3をご参照下さい。
- ※スプリアス規格・・・必要周波数帯の外側に発射される不要な電波の強度の許容値に関する規格

旧スプリアス 該当ETC車載器の外観図

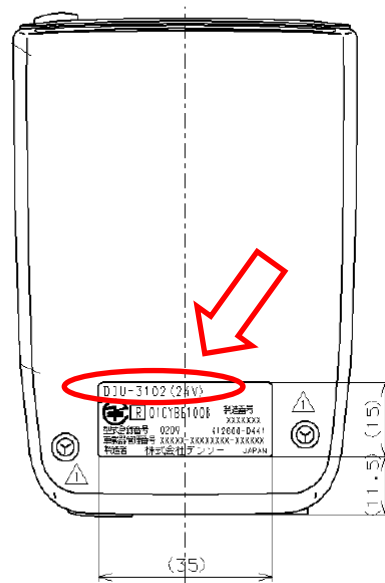


DIU-3102

判別フロー



ネームプレート (ETC本体の下面に貼付け)



	質問	回答
1	電波法の改正とはどのような改正ですか？	<p> unnecessary電波(不要電波＝スプリアス)をできる限り低減させることによって、国内の電波利用環境の維持、向上及び電波利用の推進を図るため、電波法が改正されました。</p> <p>世界無線会議(WRC)において、無線通信規則(RR: Radio Regulation)のスプリアス発射の強度の許容値が改正されたことを受けた措置です。</p> <p>これにより、無線設備のスプリアス発射の強度の許容値が見直され、旧スプリアス規格に基づいて製造されたETC車載器が、2022年12月1日より使用できなくなります。</p> <p>詳細は総務省HPをご確認ください。 http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/spurious/index.htm</p>
2	一部の旧スプリアス規格に基づいて製造されたETC車載器が使用できなくなるについて、総務省電波利用HPを探しても載っていません。本当に使用できなくなるのですか？	ETC車載器は「無線局の免許が不要な無線機器」に該当し、法令の改正により対象となる、ARIB STD-T75旧スプリアス規格認証ETC車載器は2022年12月1日以降使用できなくなります。
3	サービス開始初期のETC車載器(ARIB STD-T55準拠品)は、2022年12月1日以降も利用できるとお聞きしましたが、本当でしょうか？	ARIB STD-T55準拠のETC車載器は、無線設備規則の一部を改正する省令(平成17年総務省令第119号)附則第5条第3項法令により、2022年12月1日以降も利用できます。
4	2022年12月1日以降に対象の旧スプリアス規格に基づいて製造されたETC車載器で高速道路のETCレーンに進入した場合、ETCゲートは開かないのですか？	安全に配慮した運用となるよう検討致します。
5	2022年12月1日以降に対象の旧スプリアス規格に基づいて製造されたETC車載器を車両に取り付けているだけで、法令違反になるのですか？	電源と接続しており、電波を発することができる状態であれば、電波法違反となります。
6	買い替える場合、どの機種を選べばよいですか？	車載器メーカーや自動車メーカーにお問合せください。
7	旧スプリアス規格に基づいて製造された車載器を買い替える場合、購入補助金は出ないのですか？	現時点では、購入補助は想定しておりません。
8	ETC車載器を継続して使用できるようにする等、ユーザの負担を軽減する対応はできないのですか？	世界無線会議(WRC)において、無線通信規則(RR: Radio Regulation)が改正されたことを受けた措置ですので、ご理解をお願いします。
9	ETC車載器のセキュリティ規格の変更とスプリアス規格の変更は一緒のものですか？使用期限は一緒ではないのですか？	セキュリティ規格の変更とスプリアス規格の変更は別のものです。使用期限も異なります。

電波法令に関するお問い合わせ先

局名	管轄	電話番号
北海道総合通信局	北海道	011-709-2311(内線4624)
東北総合通信局	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	022-221-0658
関東総合通信局	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県	03-6238-1735
信越総合通信局	新潟県、長野県	026-234-9961
北陸総合通信局	富山県、石川県、福井県	076-233-4471
東海総合通信局	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	052-971-9120
近畿総合通信局	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	06-6942-8581
中国総合通信局	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	082-222-3314
四国総合通信局	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	089-936-5020
九州総合通信局	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県	096-326-7819
沖縄総合通信事務所	沖縄県	098-865-2315

(平成28年3月)

ETCシステムに関するお問い合わせ先

一般財団法人 ITS サービス高度化機構 ETCお問い合わせ窓口

TEL:(03)5216-3856

営業時間: 9:00~18:00(平日)

(土日・祝日・年末年始 12/29~1/3 は除く)

国土交通省 道路局 高速道路課 有料道路調整室

TEL:(03)5253-8111(内線 38342)

東日本高速道路株式会社 お客様センター

TEL:(0570)024-024(ナビダイヤル)

上記電話をご利用できない場合 TEL:(03)5338-7524

(年中無休・24時間)

中日本高速道路株式会社 お客様センター

TEL:(0120)922-229(フリーダイヤル)

上記電話をご利用できない場合 TEL:(052)223-0333

(年中無休・24時間)

西日本高速道路株式会社 お客様センター

TEL:(0120)924-863(フリーダイヤル)

上記電話をご利用できない場合 TEL:(06)6876-9031

(年中無休・24時間)

首都高速道路株式会社 お客様センター

TEL:(03)6667-5855

営業時間: 7:00~20:00(年中無休)

阪神高速道路株式会社 お客様センター

TEL:(06)6576-1484

営業時間: 8:30~19:00(平日)

9:00~18:00(土日・祝日・年末年始 12/29~1/3)

本州四国連絡高速道路株式会社 お客様窓口

TEL:(078)291-1033

営業時間: 9:00~17:30(年中無休)